

米国再生・再投資法により、連邦R&D拠出額が2年間で192億ドル増加し、2010年度の高等教育機関のR&D費総額は610億ドルに（4月30日）

国立科学財団（National Science Foundation：NSF）は4月30日、「2009～10年度におけるR&D並びにR&D関連設備に対する連邦投資額は米国再生再投資法（American Recovery and Reinvestment Act of 2009：ARRA）によって192億ドル増加（ARRA Increased Federal Research and Development and R&D Plant Obligations by \$19.2 Billion for FY 2009-10）」と題する報告書を発表した。

同報告書は、「連邦政府のR&D助成に関するNSF調査：2009～11年度（NSF Survey of Federal Funds for Research and Development：FY 2009-11）」の統計調査データを基にまとめられたもので、これによるとARRAによって承認されたR&DとR&D関連施設や固定設備を対象とする連邦拠出額は2009年には101億ドル、2010年には91億ドル、合計で192億ドル増加したという。

なお、2009年度に実施された連邦政府機関によるR&D関連拠出額は1,370億ドルであったが、ARRAによる拠出額はそのうち7.4%を占め、2010年度では全体の6.5%となるとの分析である。

また、NSFが発表した「高等教育部門におけるR&Dに関する調査（Higher Education Research and Development Survey）」によると、2010年度の高等教育機関におけるR&D費の総額は前年比6.9%増加し、612億ドルとなったことも明らかにされた。

この伸びの大半は、2009年ARRAを基に実施されたR&D支援によるものであり、結果として高等教育機関におけるR&D費総額のうち、連邦助成が占める割合が61%まで高まったという。

なお、機関別のR&D費ランキングでは、ジョンズ・ホプキンス大学（Johns Hopkins University）、ミシガン大学アナーバー校（University of Michigan, Ann Arbor）、ウィスコンシン大学マディソン校（University of Wisconsin, Madison）などが上位を占めている。

2010年度高等教育機関におけるR&D費の総額

順位	機関名	全R&D支出額 (百万ドル)
1	ジョンズ・ホプキンス大学	2,004
2	ミシガン大学アナーバー校	1,184
3	ウィスコンシン大学マディソン校	1,029
4	ワシントン大学（シアトル）	1,023
5	デューク大学	983
上位25機関の合計額		21,519
全機関の合計額		61,235

なお、本報告書は

<<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf12314/nsf12314.pdf>>

<<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf12313/nsf12313.pdf>>

からダウンロード可能。

National Science Foundation ARRA Increased Federal Research and Development and R&D
Plant Obligations by \$19.2 Billion for FY 2009-10

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=124032&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click